

# 加古川市

## 就学前教育カリキュラム(案)



平成 28 年 9 月  
加古川市

# もくじ

はじめに	1
本カリキュラムのねらいと考え方	2
表の見方	3

## 加古川市就学前教育カリキュラム

0・1歳児	4
1歳児	5
2歳児	6
3歳児	7
4歳児	8
5歳児	9



# はじめに

これまで本市では、幼稚園と保育所での保育時間の違いがある中で、ともに質の高い就学前教育を提供するため、平成21年度に策定した幼稚園・保育所共通の「加古川市就学前教育カリキュラム」を活用しながら、幼児期の学校教育・保育（以下「教育・保育」といいます。）における年齢ごとの内容の統一や連続性を考慮した取組を進めてきました。そのような中、子育てを社会全体で支えるため、平成27年4月から「子ども・子育て支援新制度」がスタートしました。本市においても、「子育てをみんなで支えあい、子どもが健やかに成長することができるまち加古川」を基本理念に掲げ、子育てするなら加古川市といわれるまちをめざして、平成27年3月に「加古川市子ども・子育て支援事業計画」を策定しました。現在、この事業計画に沿って、子ども・子育て支援に関する施策を総合的かつ計画的に推進しているところです。

「子ども・子育て支援新制度」がめざす、教育・保育の質の向上などを推し進めるため、「加古川市総合計画」では、「特色ある就学前教育を推進する」という方向を示し、「加古川市子ども・子育て支援事業計画」及び「第2期かこがわ教育ビジョン」においては、「教育・保育事業の関係者の参画の下で、現行のカリキュラムの内容や活用方法等の再点検及び見直しを行い、本市における子どもの健やかな成長を支援する就学前教育・保育のあり方を再度検討していく」こととしています。

これらの方針に基づき、市内で教育・保育に従事している先生方の参画を得つつ、乳幼児期の子どもが生きる力の基礎を育成しながら、小学校教育へ円滑に接続していくための教育・保育のあり方について検討を重ねてきました。こうして生まれた、新たな「加古川市就学前教育カリキュラム」では、発達や学びの連続性を踏まえながら、0歳から5歳までの子どもへ経験させたいことを整理し、具体的な指導例や家庭、小学校との連携内容を示しています。

本カリキュラムが、様々な教育・保育の現場で活用され、教育・保育の質の向上が図られるとともに、未来を担うかけがえのない子どもたちが、健やかに成長していくことを期待しています。

平成28年9月

加古川市

# 本カリキュラムのねらいと考え方

「加古川市就学前教育カリキュラム」は、国が定める「保育所保育指針」や「幼稚園教育要領」、「認定こども園教育・保育要領」の内容を踏まえながら、加古川市の就学前教育・保育の方向性を示したものです。

市内の幼稚園、保育所、認定こども園や地域型保育事業所が、本カリキュラムを活用することで、全ての乳幼児期の子どもが、質の高い教育・保育を享受し、生きる力の基礎を培い、小学校教育へ円滑に接続できる環境を整えます。

加古川市の教育の基本理念

ともに生きるこころ豊かな人づくり

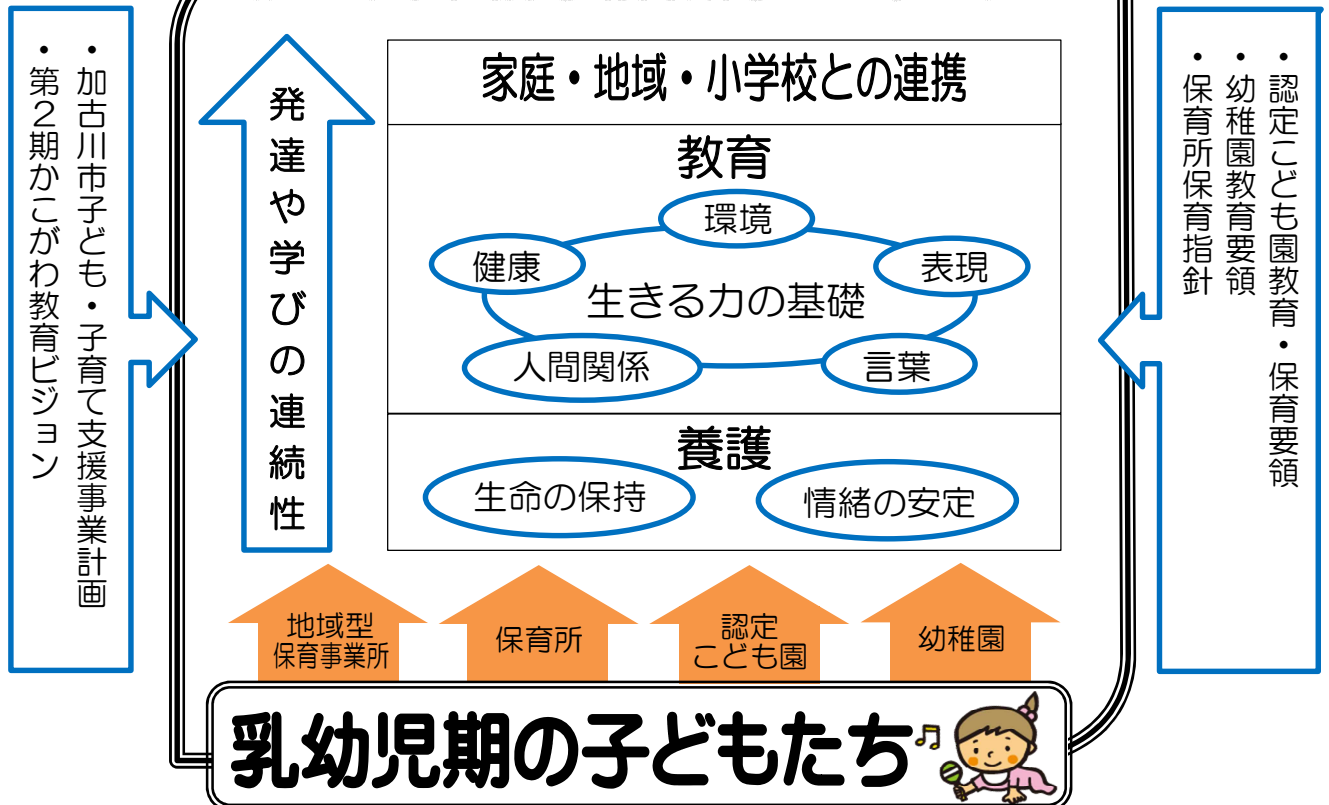
## 小学校教育への円滑な接続

自分で考え  
行動する子

あたたかく  
思いやりのある子

最後まで  
がんばりぬく子

## 加古川市就学前教育カリキュラム



# 表の見方

		Ⅰ期 (4月～5月上旬)	Ⅱ期 (5月中旬～8月)	Ⅲ期 (9月～10月上旬)	・・・
ねらい	発達	園生活に親しみ、心が安定する。 ・年長児としての自信をもって生活する。	・いろいろなものに興味や関心をもち、友達と遊びを広げる。 ・様々な運動遊びに興味をもち、積極的に取り組む。	・友達と相談しながら、みんなで一つのことをおぼろげに協力して遊びを	
	養護	・新しい環境の中で、安全で快適な生活ができるようになる。 ・一人一人の欲求を満たし、快適に過ごすことができるようになる。	・健康な生活を送るために必要な習慣を身に付け、快適に過ごせるようになる。 ・保育者や友達との信頼関係の中で、自分の気持ちや考えを表現しながら安心して生活ができるようになる。	・健康に関心をもち、環境を整える。 ・一人一人の健康状態を把握し、水分補給や休息に十分気を配る。	
	教育	・園での生活に慣れ、好きな遊びを見つけて遊ぶ。 ・保育者や友達と親しみをもって遊ぶ。 ・春の身近な自然や動植物を見たり、触れたりして親しみをもつ。 ・新入児に自分からかかわり、遊びを進めていく楽しさを味わう。	・気の合う友達とかかわりながら、考えたり工夫したりして遊びを楽しむ。 ・夏の自然や身近な動植物に興味や関心をもち、触れて遊ぶことを楽しむ。 ・身近な生活の中で、生命の尊厳に気付き大切にしようとする。	・戸外で体を十分に動かし、友達と力を合わせて遊ぶ喜びを味わう。 ・友達と遊びや活動を進める楽しさを味わう。 ・秋の自然を感じ、遊ぶ。	
	健康	・園内外の環境に留意し、安全で快適に過ごせるようにする。 ・一人一人の気持ちや考えを受け止め、保育者との信頼関係を作って情緒の安定した生活ができるようになる。	・梅雨や暑い時期の健康状態に十分配慮し、水分補給や休息を取ることに必要なことを知らせ健康に過ごせるようにする。 ・室内を清潔にするとともに、涼しく安全な環境を整える。 ・一人一人を温かく受け止めながら、思いや考えを安心して表現することができるようにする。	・暑さから体を守るため、一人一人の健康状態を把握し、水分補給や休息に十分気を配る。 ・仲間意識が高まる中で、葛藤や欲求を理解し共感したり励ましたりしながら、受け入れられているという安心感を得るようになる。	
	人間関係	・身の回りの始末・生活の仕方が分かり、自信をもって自分ですようとする。 ・戸外で遊ぶことを喜び、固定遊具で楽しく遊ぶ。 ・遊具、用具の使い方を知り、安全に気を付けて遊ぶ。 ・簡単な交通のルールが分かり、自ら気を付けて行動しようとする。 ・鉄棒や登り棒など、目的をもって挑戦しようとする。	・いろいろな運動用具を使い、思いやりを動かし遊ぶ心地よさを味わう。 ・集団で遊ぶことを喜び、満足感を味わう。 ・自分の体に関心をもち、健康な生活の仕方や食べ物を意識する。	・自分の思いや考えを表現し、仲間意識が高まる中で、葛藤や欲求を理解し共感したり励ましたりしながら、受け入れられているという安心感を得るようになる。	
	環境	・保育者と一緒に園庭や園周辺の自然に触れ、身近な草花や虫を見つけて遊ぶ。 ・飼育物や身近な虫に親しみ、世話をしたり遊んだりする。 ・砂、土、水の感触を味わったり、遊びを工夫したりする。	・身近な環境に身を入れて遊ぼうとする。 ・喜んで動植物の世話をし、生命の存在に気付く。 ・遊びに必要な材料や用具、場を自分たちで準備し、より遊びが楽しくなるよう考えて遊ぶ。 ・水に親しみ、夏ならではの遊びを楽しむ。 ・夏の夜空に興味や関心をもち、	・自分の思いや考えを表現し、仲間意識が高まる中で、葛藤や欲求を理解し共感したり励ましたりしながら、受け入れられているという安心感を得るようになる。	
	言葉	・保育者や友達に喜んで話したり、人の話に興味をもって聞いたりする。 ・身近なお話や絵本に興味をもって聞き、想像することを楽しむ。 ・知っていることを自分の言葉で伝えようとする。	・自分の思ったことや考えたことを言葉で表現する。 ・身近な遊びに必要な物の名称や用途を知り、使ってみようとする。 ・遊びや生活の中で、数、量に関心をもち遊ぶ。	・友達の話に興味をもち、いろいろなお話に親しみ、話の内容に興味をもって聞く。 ・みんなで共通の話題について話し合ったり考え合ったりする。	
	表現	・いろいろなリズムに合わせて体を動かすことを楽しむ。 ・見たこと、感じたことをいろいろな方法で表現する。 ・いろいろな材料・用具を使い、かいたりつくったりすることを楽しむ。	・歌の内容を感じながら、いろいろな歌を友達と一緒に歌ったり聞いたりして楽しむ。 ・生活の中で見たこと体験したことのイメージを大事にししながら、いろいろな方法で表現を楽しむ。	・歌ったり踊ったりする楽しさを味わう。 ・友達と考えを出し合って遊びに必要な物を作る。	
家庭との連携	・親子で栽培活動等、共通の体験を楽しめるようにする。 ・クラス便りなどで、幼児の様子や成長を伝え保護者も嬉しく感じられるようにする。 ・健康な体をつくるために、食事と栄養のバランスの大切さを伝え、栄養のバランスを考えた食事を依頼する。	・疲れがでやすい時期のため、一人一人に応じた健康管理を依頼する。 ・必要に応じて個人懇談を行い、幼児の成長について話し合う。	・生活リズムや基本的な生活習慣を親子で見直し、自分で気づいていけるような配慮を依頼する。 ・運動会に向けての遊びなどを伝え、幼児の頑張りを一緒に応援したり支えたりする。 ・衣替えの時期に、薄着を心がけてもらうようにする。		
地域との交流	・自分たちのことを大事に思ってくれてくれる人々がいることに気付く。 ・園外に出かけ、出会った人に挨拶をする。 ・地域の自然、名所などを探検し地域のよさを知る。	・夏祭りなどいろいろな行事を通して地域の人々との出会いを喜ぶ。 ・地域の人々と積極的にいかかわり、一緒に遊ぶことを喜ぶ。	・地域の人々を運動会に招待し、自分たちの頑張りを認めてもらうことを喜ぶ。 ・自分たちを励ましたり、ほめたり、認めたりしてくれる地域の人々の温かさを感じるとともに感謝の気持ちをもつ。		
小学校との連携	・小学校を身近に感じられるような場をもつ。 ・いろいろな活動を通して、保幼・小・中の連携を図る。	・小学生と触れ合う機会をもち、交流を楽しめるようにする。 ・小学校のプールや遊具などで遊ぶ機会をもち、決まりやルールのあることを知らせる。	・園の運動会などに学校関係者を招待し、機会を生かして交流を深めていく。 ・就学時健康診断を受けて、気になる幼児の様子について情報交換をする。		

**期：**  
発達の段階に応じて0～2歳児は4期、3～5歳児は5期に区切っています。

**ねらい：**  
保育課程や教育課程を具体的に示したものを。

**養護：**  
子ども一人一人の生命の保持と、情緒の安定を図るための細やかな援助。

**内容：**  
「ねらい」を達成するために、子どもの生活や状況に応じて、保育者が援助し子どもが環境に関わって経験すること。

**教育：**  
子どもに経験させたいことを具体的に示したものを。

**注意**  
教育・保育の始期によって生じる「発達の状況」の異なりを踏まえ、「0・1歳児」と「1歳児」のカリキュラムを作成しています。  
入園時期が0歳の子どもへは「0・1歳児」のカリキュラムを、入園時期が1歳の子どもへは「1歳児」のカリキュラムを活用し、教育・保育を行います。

## 0・1 歳児

年間目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健的で安全な環境の下で、個々の欲求を満たし、快適に過ごせるようにする。</li> <li>・個人差に応じて、睡眠、食欲、遊びを充足し、生活の安定を図る。</li> <li>・一人一人の欲求を受容し、保育者との信頼関係を築きながら、情緒の安定を図る。</li> </ul>				
月齢	～9か月未満	9か月～1歳未満	1歳～1歳3か月未満	1歳3か月～1歳11か月	
(発達の状況) 子どもの姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お座りをしたり、腹ばいで前進したりする。</li> <li>・保育者の話しかけで、声を出して「アーアー」など喃語を言ったりする。</li> <li>・口の中に玩具を入れ、なめたりかんだりする。</li> <li>・人見知りが始まる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・離乳食になり、食品の種類や量も増え、かむ機能、飲み込む機能も発達してくる。</li> <li>・「マンマ」「バイバイ」「ちょうだい」など簡単な言葉が分かる。</li> <li>・ハイハイや高ばいをしたり、つかまり立ちから伝い歩きをしたりする。</li> <li>・小さな物を手でつまんだり、手と手を合わせて叩いたりする。</li> <li>・身近な人を区別し、かかわろうとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スプーンを使ったり、手づかみでこぼしたりしながら自分で食べようとする。</li> <li>・「ねんね」「おいで」などの言葉が分かり、行動しようとする。</li> <li>・欲しい物をハイハイで取りに行ったり、積み木を崩したりする。</li> <li>・知っている物を指差したり、要求を身振りや表情で知らせたりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こぼしながらも、スプーンやフォークを使って自分で食べる。</li> <li>・自分でやってみたいという気持ちが芽生える。</li> <li>・排泄後に知らせたり、誘うとトイレで排泄したりすることがある。</li> <li>・保育者の言葉が分かり、まねたり、二語文で話したりする。</li> <li>・歩行が安定し、探索活動が活発になる。</li> </ul>	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定の保育者がかかわり、安心して過ごせるようにする。</li> <li>・一人一人の生活のリズムを大切にしながら、心と体の順調な発育を進める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊ぶ、食べる、眠るの生活のリズムが安定するようしていく。</li> <li>・運動機能が発達し、周囲の人や物に興味をもち、手足を使い探索活動を楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な人に自発的に働きかけながら好きな遊びを楽しむ。</li> <li>・安心できる保育者との関係の下で、食事・排泄などの活動を通して自分でしようとする気持ちの芽生えを大切に育てる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全身運動を活発にし、手指の機能を伸ばし、着脱や食事を自分でしようとする気持ちを育てる。</li> <li>・様々な遊びを通して、子ども相互のかかわりをもつ機会を大切に、次のクラスへの順調な移行を目指す。</li> </ul>	
育てたいこと・経験してほしいこと	養護	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭との連絡を密に取りながら、一人一人の健康状態を把握し、異常のある場合には適切に対応する。</li> <li>・気温や健康状態に応じて衣服の調節をこまめにし、体や衣服、身の回りの物を清潔にする。</li> <li>・睡眠中の環境（寝具、衣服、室温、換気など）に留意し、呼吸や顔色などをきめ細かく観察する。</li> <li>・子どもの気持ちを共有したり、受容したりすることで安定感をもって過ごせるようにする。</li> <li>・嫌がらずにおむつを交換してもらう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人の健康状態を把握し、発育・発達に応じてかかわる。</li> <li>・感染症にかかりやすくなる時期になるので、体調の変化を注意深く観察する。</li> <li>・子どもが気持ちを表現する喃語や声、表情に応えたりして信頼関係を築いていく。</li> <li>・離乳食に慣れ、モグモグ・ゴックンができるようになる。</li> <li>・適度な水分補給と、休息を取れるよう配慮する。</li> <li>・おやつや食事の前後、嫌がらずに手や顔を拭いてもらう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者の愛情豊かなかかわりや受容により、個々の欲求を満たし、気持ちの良い生活ができるようにする。</li> <li>・子どもの興味や発達に合わせて、お座り、ハイハイ、つかまり立ち、伝い歩き、歩行などの運動が十分にできるように、安全で活動しやすい環境を整える。</li> <li>・優しく声をかけたり、表情に応えたりして、信頼関係を築いていく。</li> <li>・自分以外の存在を認め、自分の行動や存在を肯定する気持ちが育つように、信頼関係を築いていく。</li> <li>・おむつを換えてもらったり、トイレに行ったりする。</li> <li>・手づかみで食べたり、スプーンを持って食べようとする。</li> <li>・一人一人の子どもに合った生活のリズムで、安心して睡眠するようになる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人の心身の発育・発達の状況を的確に把握する。</li> <li>・保育者が一緒にかかわる中で、子ども自身が清潔の習慣を身に付けていくようにする。</li> <li>・感染症予防のため、衛生面・健康面に十分配慮し、適切な判断に基づく対応を心がける。</li> <li>・保育者や子ども同士のかかわりの中から、自己肯定感が得られるようにかかわっていく。</li> <li>・適度な水分補給と休息が取れるように配慮する。</li> <li>・自分でいろいろな物を喜んで食べる。</li> <li>・保育者の言葉がけでトイレに行き、見守られて排泄をする。</li> <li>・安心して一定時間眠れるようになる。</li> </ul>
	教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お座りをしたり、腹ばいで前進したりする。</li> <li>・あやしてもらおうと喜び、身近な人のかかわりをもち楽しみを感じる。</li> <li>・玩具などを手で触ったり、口の中に入れてたりして、感触を楽しむ。</li> <li>・手遊びや触れ合い遊びを喜ぶ。</li> <li>・保育者に歌を歌ってもらうことを喜ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者に見守られながら、好きな玩具で遊ぶことを楽しむ。</li> <li>・保育者と一緒に戸外に出て、身近な自然に触れる。</li> <li>・保育者の言葉がけや身振りで、いろいろなことが分かるようになる。</li> <li>・一語分を話すようになる。</li> <li>・歌を歌ってもらい、体をゆらしてリズムを楽しむ。</li> <li>・絵本を読んでもらおうとじっと興味をもって見る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気に入った玩具で十分に遊ぶ。</li> <li>・戸外へ出て、花や虫、小動物に触れ、自然に親しむ。</li> <li>・絵本の読み聞かせを喜ぶ。</li> <li>・わらべうたや簡単な手遊びを楽しむ。</li> <li>・指差し、身振り等で自分の気持ちを表す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・戸外ですべり台や三輪車など、気の合う友達と一緒に遊ぶことを楽しむ。</li> <li>・上る、下りる、跳ぶ、押す、引っ張るなどの運動を取り入れた遊びをする。</li> <li>・保育者と一緒に散歩に出かけたり、園庭を散策したりして遊ぶことを楽しむ。</li> <li>・簡単な言葉遊びや言葉のやり取りを保育者や友達と一緒に楽しむ。</li> <li>・経験の中で得た簡単な言葉を使って自分の気持ちを表そうとする。</li> </ul>
期	Ⅰ期（4～5月）	Ⅱ期（6～8月）	Ⅲ期（9～12月）	Ⅳ期（1～3月）	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい環境や生活に慣れ、安心して過ごす。</li> <li>・特定の保育者と一緒に遊ぼうとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園の生活リズムに慣れる。</li> <li>・保育者や友達に興味をもち、かかわろうとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者に見守られながら、簡単な身の回りのことを自分でやってみようとする。</li> <li>・散歩や遊びを通して、全身を使う遊びを楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身の回りのことを自分でできるようになったことの喜びを感じる。</li> <li>・保育者や友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わう。</li> </ul>	
かかわりと配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の欲求を受け止め、安心して過ごせるようにし、子どもや保護者との信頼関係をつくっていく。</li> <li>・食事、排泄、睡眠などが安心してできるよう、ゆったりとした生活リズムと雰囲気作りを心がける。</li> <li>・自分で食べようとする意欲を大切に、「おいしいね」などと言葉をかけながら楽しく食べられるよう働きかける。</li> <li>・集団の中でも1対1のかかわりを大切に、思いをくみ取り、共感したり、言葉にかえたりして対応する。</li> <li>・つかむ、叩く、引っばる、入れたり出したりするなど、手指を動かして遊べる玩具を用意する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・快適に過ごせるように気温や換気に配慮し、一人一人の健康状態にも気を配る。</li> <li>・排泄の間隔を考慮し、無理のないようにトイレに誘っていく。</li> <li>・行動範囲が広がってくるので、園舎内外の安全を確認し、一人一人の行動を把握しておく。</li> <li>・子ども同士のトラブルも増えてくるので、お互いの気持ちを受け止め、他の子どものかかわり方を知らせていく。</li> <li>・伝えたい気持ちを受け止めて、言葉に代えて共感する。</li> <li>・水遊びや夏の遊びを楽しめる工夫をする。</li> <li>・子どもからのサインを見逃さず応答し、子どもの気持ちを引き出し発語へとつなげる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・散歩に出かけたり、たくさん歩いたり、自然に触れたりする機会をつくる。</li> <li>・安全に配慮し、見守りながらやろうとする意欲を大切に、いろいろな運動遊びを取り入れる。</li> <li>・自分でやろうとしている時や、集中している時は温かく見守り、発見や驚きに共感する。</li> <li>・子どもの発達や興味を考慮して、遊具や絵本を用意し、十分楽しめるよう援助していく。</li> <li>・おむつが濡れていない時に、便座に誘い、座れるように勧めるが、無理強いをしないようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・着脱や排泄を個々の発達に合わせて促し、認めながら自信へとつなげていく。</li> <li>・気候の変化に応じ、一人一人の体調の変化に留意する。</li> <li>・安全に配慮しながら散歩に出かけ、身近な自然に触れ、春の訪れを感じる機会をもつ。</li> <li>・言葉のやり取りが活発になるので、子どもの言葉をしっかりと聴き取ったり、言葉がけに配慮する。</li> <li>・友達のかかわりが楽しめるような遊びを工夫する。</li> <li>・自分でできた時はほめたり認めたりして、自信や満足感がもてるようにする。</li> </ul>	
とも家庭と	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者に安心してもらえるように、送迎の時や、連絡帳で園の様子を伝え、家庭での様子も伝えてもらう。</li> <li>・保護者の子育ての喜びや悩みに共感し、信頼関係を築く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食事、睡眠、健康面など家庭と連絡を取り合っ、生活リズムを整え、ゆったりと過ごせるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・衣服の調節や体調など、こまめに家庭と連絡し合う。</li> <li>・運動機能、言葉、自我の芽生えなどの成長を共に喜び、ゆったりと見守っていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの成長を振り返って、共に喜び合う。</li> <li>・風邪などが流行しやすいので、体調の把握、睡眠時間などに留意してもらう。</li> </ul>	

# 1 歳児

年間目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健的で安全な環境を作り、個々の生理的欲求や甘えなどの依存的欲求を満たし、生命の保持と情緒の安定を図る。</li> <li>・保育者に見守られ、励まされながら、食事、排泄、睡眠などの身の回りのことを自分でしようとする気持ちをもつ。</li> <li>・歩行が安定し、体を十分動かし遊びを楽しむ。</li> <li>・自然物や身近な用具や玩具に興味をもち、進んで遊んだり試したりする。</li> </ul>					
月齢	1歳～1歳3か月未満	1歳3か月～1歳6か月	1歳6か月～2歳	2歳～2歳6か月未満	2歳6か月～2歳11か月	
(発達) 子どもの状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ほとんどの子どもが歩き始め、徐々に歩行が安定してくる。</li> <li>・離乳食が次第に完了し、初期の幼児食へ移行する。</li> <li>・好奇心が旺盛で、穴に入れたり、のぞいたりして遊ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歩き回って遊ぶようになり、階段を登るようになる。</li> <li>・好奇心はますます盛んで、何にでも触れてみて確かめ探索行動を行う。</li> <li>・自分の好きな保育者を見付け、特定の保育者と遊ぶ。</li> <li>・つまむ、通す、めくるなど手指を使って遊ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉が増え、話すことを楽しむようになる。</li> <li>・排泄後、知らせることもある。</li> <li>・簡単な衣服の着脱に興味を示し、自分でやってみようとする。</li> <li>・簡単なごっこ遊びをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歩いたり、走ったり、跳んだり、登ったりする。</li> <li>・衣服の着脱を自分でしようとする。</li> <li>・自分の意志や欲求を言葉で表し、自己主張をするようになる。</li> <li>・絵本や紙芝居を見たり聞いたりして、繰り返しの言葉をまねる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スプーンやフォークを使えるようになる。</li> <li>・失敗することもあるが、トイレで排泄できることもある。</li> <li>・遊びに必要な決まりや言葉が分かる。(順番、貸してねなど)</li> <li>・模倣遊びやごっこ遊びを喜ぶ。</li> </ul>	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全な環境の中で保育者に見守られながら、発達に合った活動を楽しむ。</li> <li>・身近な自然に触れて、戸外での遊びを楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・簡単な身の回りのことを、手伝ってもらいながら少しずつ自分でしようとする。</li> <li>・保育者や友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わう。</li> <li>・自分の要求を表情や指差しで表そうとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者に手助けされながら、簡単な身の回りのことを自分でしようとする。</li> <li>・保育者に見守られながら、好きな遊びを楽しむ。</li> <li>・ごっこ遊びなどを通して、友達とのかかわりを楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己主張をしながら友達との様々なぶつかり合いを通して、相手の思いに気付いていく。</li> <li>・保育者と一緒に絵本を見たり、やり取りをしたりしながら模倣遊びを楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分でできることの喜びを感じ、身の回りのことを自分でする。</li> <li>・友達と一緒に遊ぶ楽しさが分かり、ごっこ遊びや簡単な集団遊びを楽しむ。</li> </ul>	
育てたいこと・経験してほしいこと	養護	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい環境に慣れ、生活リズムが整えられるようにする。</li> <li>・子どもの気持ちを受容し、共感しながら、信頼関係を築いていく。</li> <li>・楽しい雰囲気の中で様々な食べ物に親しみ、食べられるようにする。</li> <li>・優しく言葉がけしながら衣服の着脱をし、心地よさが感じられるようにする。</li> <li>・清潔にする心地よさが感じられるように援助する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・探索活動が十分に行えるよう環境を整え、適切に働きかける。</li> <li>・一人一人の発達の状況を把握し、適切な対応を心がける。</li> <li>・いろいろな食べ物に関心をもち、スプーンやフォーク、手づかみで意欲的に食べられるようにする。</li> <li>・落ち着いた雰囲気の中で、安心して眠れるようにする。</li> <li>・保育者に手伝ってもらいながら、ズボンの着脱をしようとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者との信頼関係の中で、自分の気持ちを安心して表現できるようにかかわる。</li> <li>・一人一人の排尿の間隔を把握し、トイレに誘い認めたりほめたり共に喜んだりする。</li> <li>・食事の前や戸外遊びの後など、手洗いが習慣となるようにし、自分で清潔にしようとする意欲を育てる。</li> <li>・保育者に見守られながら、一人でパンツやズボンをはこうとする。</li> <li>・安定して一定時間眠れるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全に配慮しながら、友達とのかかわりが十分もてるような遊びを取り入れる。</li> <li>・自我の芽生えを受け止め、温かく見守る中で自信がもてるように接する。</li> <li>・苦手な物も食べられるようにし、食生活に必要な基本的な習慣や態度が身に付くようにする。</li> <li>・排泄は一人一人のタイミングを把握し、無理のないように自立の方向へと見守る。</li> <li>・保育者の言葉がけでトイレに行き、見守られて排泄しようとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人の子どもの体調に留意し、感染症予防のため、衛生面、健康面に十分配慮する。</li> <li>・適度な水分補給と休息を十分に取れるよう配慮する。</li> <li>・一人一人の甘えや欲求、不安な気持ちを温かく受け止める。</li> <li>・落ち着いた雰囲気の中で十分眠れるようにする。</li> <li>・興味をもって、簡単な衣服を自分で着脱できるように、援助していく。</li> <li>・食事、排泄などの簡単な身の回りのことを自分でしようとする。</li> </ul>
	教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全な場所で歩行を楽しみ、外気に触れながら体を十分に動かして遊ぶことを楽しむ。</li> <li>・保育者との愛情豊かなかかわりの中で、人への愛情や信頼感を育む。</li> <li>・簡単な言葉を理解し、指差しや一語文で表現し、保育者とのやり取りを楽しむ。</li> <li>・保育者と一緒に歌ったり、簡単な手遊びをしたり、体を動かしたりして遊ぶ。</li> <li>・水、砂、土、粘土など様々な素材に触れて楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全な場所で全身運動(走る、跳ぶ、くぐるなど)を十分に楽しむ。</li> <li>・安心できる保育者とのかかわりの中で、身近な大人や友達とかかわろうとする。</li> <li>・自然に触れ、戸外で伸び伸びと遊ぶ。</li> <li>・保育者の話しかけを喜び、自分から指差し、身振り、片言でしゃべることを楽しむ。</li> <li>・生活の中で、様々な音や色、形、手触り、動き、味、香りなどに気付く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・好きな玩具や遊具に興味をもって、様々な遊びを楽しむ。</li> <li>・興味のある絵本を保育者と一緒に見ながら、簡単な言葉の繰り返しや模倣を楽しむ。</li> <li>・タンバリン、カスタネットなどをたたいて、楽器遊びを楽しむ。</li> <li>・クレパスなどを使って、なぐりがきをする。</li> <li>・粘土遊びを楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歩く、走る、跳ぶなどの全身運動を十分に楽しむ。</li> <li>・身の回りの植物や小動物にかかわり、興味をもつ。</li> <li>・生活に必要な簡単な言葉を聞き分けたり、いろいろな出来事に関心を示し、言葉で表す。</li> <li>・歌を歌ったり、友達のまねをしたり、リズムに合わせて体を動かしたりして遊ぶことを楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・散歩にでかけ、園庭で遊ぶ中で、身近な自然に触れる。</li> <li>・保育者や友達と一緒にごっこ遊びを楽しむ。</li> <li>・保育者と一緒に絵本を見ながら、簡単な言葉の繰り返しや模倣をして遊ぶことを楽しむ。</li> <li>・歌を歌ったり手遊びをしたりして楽しむ。</li> <li>・つまむ、めくる、丸める、なぐりがきなどの指先を使った遊びを楽しむ。</li> </ul>
期	I期(4～5月)	II期(6～8月)	III期(9～12月)	IV期(1～3月)		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい環境や生活に慣れ、安心して過ごす。</li> <li>・安心できる保育者と一緒に好きな遊びを楽しむ。</li> <li>・身近な自然に触れて、戸外での遊びを楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水や砂、土に触れて、手足や全身を使って遊び、開放感を味わう。</li> <li>・保育者に見守られながら、自分のことをやってみようとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊びや散歩を通して、全身を使う遊びを楽しむ。</li> <li>・「自分で」という気持ちをもちながら、自分のことを自分でしようとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者に励まされながら、自分でできることに喜びを感じる。</li> <li>・保育者や友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わう。</li> <li>・冬の自然に触れて戸外での遊びを楽しむ。</li> </ul>		
かかわりと配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人の気持ちを十分受け止め、保育者との信頼関係を築いていく。</li> <li>・衣服、おむつの交換などを心地よく感じられるよう声をかけながら、手際よく行う。</li> <li>・個々のリズムを大切にしながら、安心して睡眠が取れるようにする。</li> <li>・1対1のかかわりを大切に、思いをくみ取り、共感したり言葉にかえたりして対応する。</li> <li>・手遊びなどで子どもとの触れ合いを深めるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・快適に過ごせるように、一人一人の健康に留意する。</li> <li>・甘えを十分受け止め、保育者との1対1のかかわりを大切にしながら、友達ともかかわる場面をつくっていく。</li> <li>・一人一人の状況を見ながら、無理なく1回寝の生活リズムをつくっていく。</li> <li>・まだ歩行が不安定な子どもがいる一方で、行動範囲が広がってきている子どもが多いので、園舎内外の安全を確認したり、一人一人の行動を把握したり、注意して観る。</li> <li>・水遊びや夏の遊びを楽しめる工夫をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉のやりとりが楽しくなるので、子どもの言葉をしっかりと聞き取り、言葉がけに配慮する。</li> <li>・散歩など、たくさん歩く機会をつくる。</li> <li>・安全な環境で探索活動が十分行えるようにする。</li> <li>・朝、夕と日中の温度差があるので、常に体調の変化に気を付ける。</li> <li>・安全に配慮し、見守りながら自分でしようとする意欲を大切に、運動遊びが楽しめるようにする。</li> <li>・自分でしようとしている時や何かに集中している時は温かく見守りながら、発見や驚きに共感する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病気予防のため、衛生面、健康面に十分配慮する。</li> <li>・天気のよい日はできるだけ外に出るようにし、冬の寒さに触れるようにする。</li> <li>・着脱や排泄を一人一人の発達に合わせて促し、認めながら自信へとつなげていく。</li> <li>・ぶつかり合いになった時は子どもの気持ちを受け止め、遊びが続くよう配慮する。</li> <li>・友達とのかかわりを楽しめるような遊びを工夫する。</li> </ul>		
ともに	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭と常に連絡し合いながら、食事や睡眠など一人一人の生活のリズムをつくっていく。</li> <li>・保護者の不安を受け止め、送迎の際には丁寧に子どもの様子を知らせ信頼関係を築いていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・衣服の調節や体調など、こまめに家庭と連絡し合う。</li> <li>・汗をかきやすい時期なので、着替えを多めに用意してもらう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園での様子やできたことを伝え、成長を共に喜び合う。</li> <li>・朝夕と日中の気温差を考慮しながら、活動的に快適に過ごせるよう、薄着の大切さを知らせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一年間の子どもの成長を共に喜び合う。</li> <li>・冬に流行する病気を知らせ、うがいや手洗いの大切さを伝えながら、体調を把握し合い、健康に過ごせるようにする。</li> </ul>		

## 2歳児

年間目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・養護の行き届いた下で、保育者との安定したかかわりを大切にしながら、簡単な身の回りのことを自分でしようとする。</li> <li>・自分でしようとする気持ちを大切に、基本的な生活習慣を身に付けていく。</li> <li>・ゆったりとした雰囲気の中で、個々の子どもの欲求を十分満たし、生命の保持及び情緒の安定を図りながら快適に生活できるようにする。</li> <li>・自分の好きな遊びを十分楽しみ、伸び伸びと体を動かしたり、表現したりする楽しさを味わう。</li> <li>・いろいろな経験を通して、言葉のやり取りや模倣遊びを楽しみながら、友達との関係を深める。</li> </ul>				
期	Ⅰ期（4～5月）	Ⅱ期（6～8月）	Ⅲ期（9～12月）	Ⅳ期（1～3月）	
（発達の状況） 子どもの姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい環境の中で、不安や戸惑いを感じながらも、少しずつ園生活でのリズムが分かり、落ち着いて生活できるようになる。</li> <li>・保育者に促されながら、自分の好きな遊びを見付けて遊ぼうとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身の回りのことを自分でしようとする姿が見られる。</li> <li>・保育者との信頼関係ができ、自分の欲求を、簡単な身振りや言葉で伝えようとする。</li> <li>・自他の区別が付き、自己主張が強くなり、友達とのトラブルもあるが、相手にも同じ思いがあることを知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者に手伝ってもらいながら、身の回りのことなどが自分でできるようになり、できたことを喜ぶ姿が見られる。</li> <li>・走る、跳ぶ、ぶらさがるなど全身を使った運動遊びを楽しむ。</li> <li>・「貸して」「入れて」「順番」など、言葉で気持ちを伝えながら、友達とかかわる姿が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身の回りのことはほぼ自分でできるようになるが、その時の気分で、しようとしなないことがある。</li> <li>・手足や全身の協応運動が巧みになり、いろいろなことに挑戦しようとする。</li> <li>・「なぜ」「どうして」などの質問や言葉のやり取りをしながら、友達とのかかわりを広げ、思いやりの気持ちがもてるようになる。</li> </ul>	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・簡単な身の回りのことを、手伝ってもらいながら自分でしようとする。</li> <li>・一人一人の甘えや欲求、不安な気持ちを温かく受け止め、子どもの心の居場所をつくるようにする。</li> <li>・保育者に見守られながら、戸外や自然の中で体を動して好きな遊びを楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適切な休息を取りながら、梅雨や暑い時期に健康で快適に過ごせるようにする。</li> <li>・保育者や友達と一緒に水・砂・土・泥などに触れて開放的な遊びを十分楽しむ。</li> <li>・自己主張しながら、友達との様々なぶつかり合いを通して相手の思いに気付いていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・季節の変化や気温差に留意し、健康で快適に過ごせるようにする。</li> <li>・保育者や友達と一緒に戸外や自然の中で全身を使った遊びを楽しむ。</li> <li>・ごっこ遊びを通して、友達とのかかわりをもち、一緒に遊ぶ楽しさを感じる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冬の健康生活に留意し、寒さに負けず、元気に過ごせるようにする。</li> <li>・自分でできることに喜びを感じ、簡単な身の回りのことをする。</li> <li>・経験したこと、興味のあることを保育者や友達と自分なりに表現して楽しむ。</li> </ul>	
育てたいこと・経験してほしいこと	養護	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭的な雰囲気の中で、安心して過ごせるようにする。</li> <li>・楽しい雰囲気の中で、安心して食事ができるようにする。</li> <li>・所持品の始末の仕方が分かり、保育者と一緒に行うようにする。</li> <li>・一人一人の気持ちを十分受け止め、触れ合いを大切にしながら、情緒的に安定して遊べるようにする。</li> <li>・保育者に誘われながら、トイレで排泄しようとする。</li> <li>・簡単な衣服の着脱は、保育者と一緒に行うようにする。</li> <li>・保育者にそばについてもらい、安心して眠る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食事を友達と一緒に楽しむ中で、自分で食べようとする。</li> <li>・自分から尿意を知らせ、保育者に見守られながらトイレで排泄しようとする。</li> <li>・簡単な衣服は、自分で脱いだり着たりしようとする。</li> <li>・汚れに気付くと保育者に伝え、手を洗ったり着替えたりしようとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しく食事をしながら、苦手な食品を食べようとする。</li> <li>・パンツやズボンを自分で下げて排泄しようとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冬の保健衛生に留意し、感染予防に努め、健康に過ごせるようにする。</li> <li>・食器、箸の使い方を覚え、友だちと喜んで食事をしようとする。</li> <li>・排泄の始末や手洗いを自分でしようとする。</li> <li>・衣服の前後、裏表に気付きながら自分で着替えようとする。</li> <li>・鼻汁が出たら気付き、自分で拭こうとする。</li> </ul>
	教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者や友達の名前やマークに関心をもったり、言葉にしたたりする。</li> <li>・好きな絵本を読んでもらったり、知っている歌を歌ったり、手遊びをしたりして楽しむ。</li> <li>・身近な春の自然の中で小動物や草花に触れ、伸び伸びと体を動かして遊ぶことを楽しむ。</li> <li>・絵の具やクレパスでなぐりがきをしたり、粘土遊びを楽しんだりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・泥んこ遊びや水遊びなど、水に触れながら全身を使った遊びを楽しむ。</li> <li>・簡単なわらべうた遊びや追いかけて遊ぶ保育者や友達と一緒に楽しむ。</li> <li>・好きな歌を覚えて保育者と一緒に歌ったり、リズムに合わせて体を動かしたりすることを楽しむ。</li> <li>・気の合う友だちと一緒に見立て遊びやつもり遊びなど模倣を楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊びの目的をもって近くまで出かけたり、秋の自然に触れながら、散歩を楽しむ。</li> <li>・走る・跳ぶ・登る・押す・引っ張るなど全身を使った遊びを楽しむ。</li> <li>・自分の思いや経験、欲求などを言葉で伝える。</li> <li>・保育者や友達と一緒に言葉のやり取りを楽しみながら、絵本や紙芝居の好きな場面を再現して遊ぶ。</li> <li>・葉っぱや木の実などを集め、遊びに使って楽しむ。</li> <li>・簡単なダンスを楽しんだり、保育者や友達と曲や歌に合わせて体を動かしたりして遊ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者と一緒に簡単なルールのある遊びをする。</li> <li>・お話遊びの中で自分の好きな役になって楽しむ。</li> </ul>
保育者のかかわりと配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人の甘えや欲求を受け止め、安心して過ごせるようにし、子どもとの信頼関係をつくっていく。</li> <li>・食事、排泄、睡眠などが安心してできるよう、ゆったりとした生活リズムと雰囲気作りを心がける。</li> <li>・自分の持ち物や場所が分かるように、一人一人のマークを靴箱や棚等に貼っておく。</li> <li>・子どもが好きなところで遊べるように、保育者間で話し合い連携して安全面に留意する。</li> <li>・子どもが遊びに入りやすいように、遊具はすぐ遊べる状態にしておく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身の回りのことを自分でやろうとする気持ちを大切に、ゆとりをもって見守ったり、励ましたりしながら、意欲につなげていく。</li> <li>・健康状態について家庭との連携を密にし、水遊びを十分楽しめるようにしておく。</li> <li>・夏の暑さで疲れやすい時期なので、個々の健康状態に気を配り、水分補給や活動と休息のバランスに配慮する。</li> <li>・「自分で」という時は見守り、手助けが必要な時はさりげなく援助するなど、自分でしようとする気持ちを大切にする。</li> <li>・ぶつかり合いが多くなるが、成長過程での必要な経験として温かく受け止め、相手の気持ちにも気付けるように、分かりやすくかかわり方を知らせていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体調や気候に合わせて衣服の調節をしながら、薄着の習慣を付けていく。</li> <li>・保育者も一緒に遊ぶ中で、子どもの発想を大事にしながら遊びを展開できるようにする。</li> <li>・絵本や紙芝居のストーリーを楽しみ、言葉のやり取りを楽しめるように遊びを広げていく。</li> <li>・順番、交代などの約束事を守ることで遊びがより楽しくなることを知らせ、仲立ちしていく。</li> <li>・自然に触れて伸び伸びと遊べるように、散歩など戸外での活動を多く取り入れる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分でしようとする気持ちを十分認めたり、甘えたい気持ちを受け止めたりして、自信をもって生活できるようにする。</li> <li>・子どもの話したいことや、やりたいことへの意欲をくみ取り、表現しようとする気持ちを大切にする。</li> <li>・お話を保育者や友達と一緒に楽しむ。</li> <li>・遊びが楽しく持続できるよう保育者が見守り必要に応じて、援助する。</li> <li>・自分の気持ちや相手の気持ちに気付けるように仲立ちしていく。</li> </ul>	
とも家庭に	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい環境への不安や期待を受け入れ、送迎時や連絡帳を利用して子どもの様子を伝え、信頼関係を築いていく。</li> <li>・心身ともに疲れが出やすい時期なので、子どもの様子を伝え、健康に過ごせるように配慮し合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食中毒や感染症に留意し、情報の収集に努め、連絡を密にして子どもの健康状態を把握しておく。</li> <li>・「自分で」という気持ちを大切にするこの意味を園と家庭で共通理解し、温かく見守っていけるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分で着脱しやすく、気温差に応じて調節できるような、下着や衣服を準備してもらう。</li> <li>・献立表や保健便りなどを通して子どもの一日のリズムや食事の様子を伝え合い、元気に過ごせるようにしていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症が流行しやすい時期なので、発生状況を伝え、病時病後の対応を確認し合う。</li> <li>・身の回りのことが自分でできるようになった子どもの姿を伝え、共に喜び合う。また、褒めたり励ましたりしながらかわっていくことを大切にしていく。</li> </ul>	



### 3歳児

期	I期（4月～5月）	II期（6～8月）	III期（9月～10月上旬）	IV期（10月中旬～12月）	V期（1月～3月）		
発達	<ul style="list-style-type: none"> <li>進級、新入を喜び登園するが、環境の変化に戸惑い、生活の流れがつかめず、緊張や不安を抱く。</li> <li>困ったことや嫌なことなど言葉でなかなか伝えられず泣いたり、手を出したりする姿が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>好きな遊びを見つけて、自由に遊ぶ。</li> <li>自己主張をするようになり、友達とぶつかり合うことが多くなる。</li> <li>生活の中で見立てや模倣をすることが多くなり、盛んにごっこ遊びを楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育者の援助が必要なきももあるが、身の回りのことはほとんど自分でできるようになる。</li> <li>仲良しの友達と遊びながら、それ以外の友達とも一緒に遊ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人差は見られるが、身の回りのことはほとんど自分でできるようになる。</li> <li>友達とのかかわりが広がり、仲間意識が芽生える。</li> <li>いろいろな運動遊びをする中で、体を動かす楽しさや友達と一緒に遊ぶ楽しさが分かる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>身の回りのことが自分でできるようになり、保育者や友達の手伝いを喜んでする。</li> <li>自分の思いが通らないと泣いたりする姿が見られるが、相手のことも少し思いやれるようになる。</li> <li>進級に対する期待をもつ。</li> </ul>		
ねらい	養護	<ul style="list-style-type: none"> <li>個々の子どもの健康状態や生活リズムを把握し、健康に過ごせるようにする。</li> <li>一人一人の欲求を受け止めながら、情緒の安定した生活を送れるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活に必要な身の回りのことを保育者に見守られながら、自分でしようとする。</li> <li>一人一人の気持ちを優しく受け止め、安心して自分を表現できるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>夏の疲れが出て、体調を崩しやすいので生活の仕方を見直す。</li> <li>自己主張を受け止めながら、友達の気持ちに気がつくようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>冬の健康生活に留意し、快適に生活できるようにする。</li> <li>一人一人の成長を認め、自信をもって生活し、満足感や達成感を味わえるようにする。</li> </ul>		
	教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育者や友達とのかかわりながら好きな遊びを一緒に楽しむ。</li> <li>春の自然に触れながら遊ぶことを楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>友達とのかかわりを楽しみながらいろいろな夏の遊びを楽しむ。</li> <li>行事に参加し、みんなで一緒に行動し、活動を楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>友達とのかかわりが深まり、仲良しの友達ができる。</li> <li>戸外遊び、運動遊びに興味をもち、友達と体を動かして遊ぶことを楽しむ。</li> <li>秋の自然物に触れて遊ぶことを楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>戸外遊びを十分にし、体を動かす楽しさを味わう。</li> <li>身近な自然に触れ、遊びの中に取り入れているいろいろな遊びを楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>進級することへの期待を持って生活する。</li> <li>寒さに負けず、元気に戸外遊びを楽しむ。</li> <li>生活習慣が身に付き、自分で自信をもって行動できるようにする。</li> </ul>	
内容	養護	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境の変化から不安を感じた行動が見られるので、一人一人の発達状態を把握し、安心して生活できるよう配慮する。</li> <li>できることは多少の時間がかかっても見守り、自信につなげていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育者との信頼関係の下で、自分の思いを安心して出せるようにする。</li> <li>活動と休息のバランスに配慮し、水分補給等しながら、快適に生活できるようにする。</li> <li>人とかわる中で、自己抑制や社会性を伸ばし、情緒豊かに育てる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>快適な生活を覚え、安心して集団生活を過ごし、日々満足感が得られるようにする。</li> <li>友達や保育者との信頼関係が育ち、自分の気持ちを伝えられるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>物事に意欲をもって取り組む気持ちを大切にし、できたことをほめ、心の安定に努める。</li> <li>気温の変化に応じて衣服の調節や室温や湿度、換気などに留意して健康に過ごせるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人一人の成長を認め、満足感や達成感を味わえるようにする。</li> <li>生活の流れに見通しがつき、自分で行動する。</li> <li>気温の変化に応じて衣服の調節や室温や湿度、換気などに留意して健康に過ごせるようにする。</li> </ul>	
	教育	健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育者や友達と楽しい雰囲気の中で食事をする。</li> <li>生活や遊びの中に簡単な決まりがあることを知る。</li> <li>安全な遊具の使い方を知り、戸外で体を動かして遊ぶことを楽しむ。</li> <li>保育者の手助けを受けながら、排泄、着脱、手洗いなど基本的な生活の仕方を知り、自分でしようとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活の流れが分かり、食事、排泄など保育者に見守られる中、できることは自分でしようとする。</li> <li>戸外遊びや水遊びで十分に体を動かすことを楽しむ。</li> <li>夏の生活の仕方がわかる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な運動器具や遊具を使って十分に体を動かして遊ぶ。</li> <li>衣服が汚れたり、汗をかいた時は、着替える事を知る。</li> <li>生活の仕方が分かり、簡単な身の回りのことは自分でする。</li> <li>食事の手伝いを喜んでする。</li> <li>食材や献立の名前を知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>季節の変化に応じて、体調に留意しながら健康で安全な生活ができるようにする。</li> <li>生活の流れに見通しをもち、進んで身の回りのことをしようとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>気温差や活動に留意し、安全に気を付けながら健康に生活できるようにする。</li> <li>寒さに負けず、十分に体を動かして遊ぶことを楽しむ。</li> <li>食事のマナーを守って食べようとする。</li> </ul>
		人間関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育者に欲求を受け入れてもらい、親しみや安心感をもって生活や遊びをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>友達とかわる中で、少しずつ友達の気持ちを知る。</li> <li>自分で好きな遊びを見付け、気の合う友達や保育者と遊ぶことを楽しむ。</li> <li>異年齢の友達と一緒に、遊びを楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>行事や日常生活、遊びの中で異年齢の友達との触れ合いを楽しむ。</li> <li>友達や保育者と一緒に簡単なルールのある遊びを楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>友達と、いろいろな遊びを通してイメージを共有しながらかかわりを広げていく。</li> <li>順番や交代することが分かり始め、簡単なルールを守って友達や保育者と遊ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の要求や思いを主張しながらも友達の気持ちも分かってくる。</li> <li>異年齢の友達とのかかわり、思いやりの気持ちや進級への期待をもつ。</li> </ul>
		環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な動植物を見たり、触れたりして自然に親しみをもつ。</li> <li>自分の持ち物や玩具の置き場所が分かり、片付けようとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>梅雨期や夏の自然現象に興味をもち、夏ならではの遊びを十分に楽しむ。</li> <li>夏野菜の生長や収穫に興味をもつ。</li> <li>小動物を見たり触れたりして、興味をもつ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>秋の自然に親しみながら園外保育を楽しむ。</li> <li>身近な小動物や虫に興味をもち、見たり触れたりして遊ぶことを楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活や遊びの中で、身の回りの物の色、数、量、形などに興味をもち、違いに気付く。</li> <li>野菜を収穫することを楽しむ。</li> <li>秋の自然に親しみ、自然物を使って遊ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>冬の自然現象に触れて、驚きや関心をもつ。</li> <li>伝統的な正月の遊びや郷土の遊びを楽しむ。</li> <li>行事に喜んで参加して楽しむ。</li> <li>生活や遊びの中で簡単な数、形、色、文字などに興味をもつ。</li> </ul>
		言葉	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育者にしたいこと、して欲しいことを動作や言葉で伝える。</li> <li>絵本、紙芝居などを見たり聞いたりして楽しむ。</li> <li>あいさつや返事など、生活に必要な言葉を知り使おうとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>絵本や紙芝居、童話などに親しみ、見たり聞いたりして楽しむ。</li> <li>経験したことを保育者に話したり、様々な場面で「なぜ」「どうして」など質問したりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>友達や保育者との会話のやり取りを楽しみ、言葉が豊かになる。</li> <li>絵本や紙芝居、童話などを読み聞かせてもらい、イメージをもって楽しんで、見たり聞いたりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>身の回りの出来事に関する話に興味をもつ。</li> <li>ごっこ遊びの中で日常生活の言葉のやり取りを楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>絵本や紙芝居、童話などの内容が分かり、イメージを広げる。</li> <li>自分の思ったことや感じたことを言葉で表現し、言葉のやり取りを楽しむ。</li> </ul>
		表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>知っている歌を歌ったり、手遊びやわらべうたなどを楽しむ。</li> <li>クレパス、紙、砂、粘土などの感触を楽しみながら遊ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>身の回りの物の音・色・形・手ざわりに気付き、感じたことを表現して楽しむ。</li> <li>画材や素材を使ってかいたりつくったりする楽しさを味わう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>音楽に親しみ、聞いたり、歌ったり、体を動かしたり、簡単なリズム楽器を鳴らして遊ぶ。</li> <li>身近な素材や自然物を使ってつくったり遊んだりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な素材や自然物を使って、自由にかいたり、つくったりして遊ぶ。</li> <li>動物や乗り物の動きを模倣して、体で表現する。</li> <li>友達と一緒に音楽を聞いたり、歌ったり、体を動かしたり、リズム楽器を鳴らして楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>つくったものを用いて、いろいろな遊びへと発展させていく。</li> <li>自分なりの表現でお話遊びを楽しむ。</li> </ul>
	家庭との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者の生活を理解し、子育てについて一緒に考える。</li> <li>保護者に安心してもらえるように登降園時に家庭の様子を聞いたり、園での姿を伝えたりして信頼関係を築いていく。</li> <li>環境の変化から心身ともに疲れやすくなるので、十分に休息を取り、家庭でも気持ちを受け止めるなどの配慮をしてもらうように伝える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>園生活の中で、身の回りのことを自分でしている姿を伝え、家庭でも時間に余裕をもって、自主的に取り組む様子を見守ってもらえるように声をかける。</li> <li>天候や気温の変化に伴い、着脱しやすい衣服を準備してもらい、体を清潔に保てるようにする。</li> <li>水遊びでは、健康チェック表で子どもの健康状態を細かく伝え合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>行事や遊びを通じた取り組みの過程から成長の様子を知らせ一緒に喜び合う。</li> <li>運動量が多くなるので栄養、睡眠、休息を十分取るように伝え、連絡を取り合う。</li> <li>基本的な生活習慣や生活リズムの大切さを知らせ、個々の状態に合わせて整えてもらうようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>寒さに向かう時期に抵抗力を付けるため、薄着で過ごすことが良いことを伝え、調節しやすい衣服を準備してもらおう。</li> <li>風邪などの予防のため、うがい、手洗いの習慣の大切さを伝え、家庭でも行ってもらおう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの成長を振り返り、保護者とともに成長を喜び合う。</li> <li>自己主張や自立心が強くなるが、まだ、甘えたい気持ちもあることを伝え、温かく受け止めてもらうよう話をする。</li> <li>感染症が流行しやすい時期なので、手洗いやうがいの励行などを呼びかけ、個々の健康面の連絡を取り合う。</li> </ul>	
地域との交流	<ul style="list-style-type: none"> <li>散歩に出かけた時には、地域の人々にあいさつをして親しみがもてるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の人々との交流を通じて園の様子を知ってもらったり、一緒に触れ合ったりして親しみがもてるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>いろいろな行事を通して、地域の人々と交流をもち、一緒にかかわる中で感謝の気持ちやいたわりの気持ちをもつ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>行事を通して家庭や地域の人々と一緒に子どもたちの成長を喜び合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の人々との交流の中で、子どもの一年の成長を喜び合う。</li> </ul>		

## 4歳児

期		I期（4月～5月上旬）	II期（5月中旬～8月）	III期（9月～10月上旬）	IV期（10月中旬～12月）	V期（1月～3月）
発達		<ul style="list-style-type: none"> <li>新しい環境に慣れ、保育者や友達に親しみをもち、園生活を楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>いろいろな遊びに興味を示しながら、保育者や友達と触れ合って遊ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>遊びが活発になり、体を動かして遊ぶことを喜ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>友達や保育者と遊ぶ楽しさが分かり、いろいろな遊びをやってみようとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えを伝えたり、友達の考えを受け入れたりしながら、友達とのかかわりを楽しむ。</li> <li>進級することを楽しみに生活する。</li> <li>新しいことに挑戦したり、やりたいことを自分なりに表現したりして遊ぶ。</li> </ul>
ねらい	養護	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康的で安全な環境を整える。</li> <li>一人一人の欲求を満たし、情緒の安定を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>夏期の健康状態に配慮し、睡眠や休息・水分補給を十分に心身の疲れを緩和しながら、快適に生活できるようにする。</li> <li>幼児の気持ちや考えを受け止め、安定した生活ができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動と休息のバランスを考えて、無理のない生活が送れるようにする。</li> <li>幼児の思いに共感し、意欲的に取り組む姿を認める中で、自信をもって生活できるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>気温の変化に応じた環境保健に留意し、快適に過ごせるようにする。</li> <li>一人一人が安心して自分の気持ちを表現し、意欲的に活動できるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>冬の環境保健に留意し、寒さに負けず元気に過ごせるようにする。</li> <li>一人一人の成長を認め、自信をもち、工夫しながら楽しく生活できるようにする。</li> </ul>
	教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>園生活の仕方やリズムが分かり、安心して生活する。</li> <li>保育者や友達に親しみをもち、一緒に行動しようとする。</li> <li>身近な春の自然に触れて遊ぶことを喜ぶ。</li> <li>自分の好きな遊びを見つけて喜んで遊ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>園生活の仕方が分かり、自分でしようとする。</li> <li>好きな遊びを見つけて、気の合う友達と一緒に遊ぶことを楽しむ。</li> <li>友達と一緒に夏の遊びを十分に楽しむ。</li> <li>身近な動植物に興味や関心をもち、触れて遊ぶことを楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活のリズムを整え、友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わう。</li> <li>集団での決まりを守り、友達と一緒に運動遊びをする心地よさを味わう。</li> <li>友達との関係を広げ、共通の目的をもって活動することを楽しむ。</li> <li>秋の自然に興味や関心をもち、かかわって遊ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人一人のイメージを出し合っ好きな遊びや表現活動を楽しむ。</li> <li>秋から冬への季節の移り変わりに気付き、身近な自然の中で十分に遊びを楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>寒さに負けず、友達と誘い合っ元気いっぱい遊ぶ。</li> <li>お話の世界にイメージを広げて遊ぶ。</li> <li>春の訪れを楽しみに待つ。</li> <li>年長児になることを自覚し、自分たちで生活を進めようとする。</li> </ul>
養護		<ul style="list-style-type: none"> <li>環境を明るく清潔に整え、安全で快適に過ごせるようにする。</li> <li>一人一人を温かく受け止め、安心して生活ができるように配慮しながら、信頼関係を築く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動と休息のバランスに配慮し、計画的に水分補給ができるようにする。</li> <li>一人一人の幼児を理解し、その気持ちを温かく受け止めながら、保育者や友達との信頼関係を深めていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康に過ごせるように、休息や水分補給を自分からできるようにする。</li> <li>夏の疲れや不規則な生活のため不安定になる幼児の気持ちをしっかり受け止め、安定して生活できるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人一人の幼児の健康状態に留意し、異常のある場合は適切に対応する。</li> <li>感染症の予防と早期発見に努める。</li> <li>一人一人の気持ちを温かく受け止め、安心して自分を表現したり意欲的に生活したりできるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>暖房器具などの安全に留意し、室温や換気に気を付ける。</li> <li>感染症の予防、早期発見に努める。</li> <li>一人一人の成長を認め、自信をもって意欲的に生活できるようにする。</li> </ul>
内容	健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>持ち物や身の回りの始末の仕方を知り、自分でしようとする。</li> <li>戸外で遊びながら、体を動かす心地よさを味わう。</li> <li>遊具、用具の使い方が分かる。</li> <li>簡単な交通ルールを知る。</li> <li>食事を通して、食べ物に関心をもつ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の体や身の回りをいつも清潔にする。</li> <li>一人で衣服の着脱をする。</li> <li>砂場やプールなどで、全身を使って、伸び伸びと遊ぶ。</li> <li>歯科健診などの健診を受け、自分の体に関心をもつ。</li> <li>いろいろな遊具、用具を使い、友達と一緒に遊ぶことを楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活のリズムを整え、健康に必要な習慣を身に付ける。</li> <li>気候や活動に合わせて衣服の調節をする。</li> <li>いろいろな運動遊びに興味をもち、全身を使って遊ぶことを楽しむ。</li> <li>友達と一緒に遊びながら、目標を達成する喜びを味わう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>戸外で簡単なルールのある遊びをしながら友達とのつながりを楽しむ。</li> <li>遊具、用具の使い方が分かり、安全に使う。</li> <li>危険なものや場所に注意し、安全に気を付けて遊ぶ。</li> <li>季節の変化に応じた生活の仕方を身に付ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>体が温まる遊びを見付け、体を十分に動かして遊ぶ楽しさを味わう。</li> <li>冬の健康的な生活に必要な習慣を身に付ける。</li> </ul>
	人間関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育者とかわり安心する。</li> <li>保育者や友達の名前を知り、親しみをもったり、一緒に遊ぶことを楽しんだりする。</li> <li>保育者や友達に元気に挨拶をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>気の合う友達と遊ぶ時間が長くなり、友達関係を広げようとする。</li> <li>異年齢の友達と一緒に遊ぶを楽しむ。</li> <li>友達と生活する中で決まりの大切さに気付き、守ろうとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>友達と一緒に遊ぶ楽しさが分かり、行動を共にしようとする。</li> <li>身近な人との触れ合いを楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の思いを主張するが、相手の考えも受け入れる。</li> <li>友達や年長児の刺激を受け、興味をもったことを実現して遊ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育者や友達から、自分の成長を認めてもらって喜ぶ。</li> <li>友達の気持ちを知り、共感する。</li> <li>年長児の卒園を祝う気持ちをもち、様々な会に参加することを楽しむ。</li> </ul>
	環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>春の自然や動植物に興味をもち、見たり触れたりすることを楽しむ。</li> <li>砂や土の感触を味わったり、気の合う友達と遊んだりする。</li> <li>自分の安定する場所を見つけて遊ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>砂や土、水などの感触を味わい、全身を使って遊ぶ。</li> <li>友達と力を合わせて片付け、きれいに整頓できたことを喜ぶ。</li> <li>草花を工夫して遊びに取り入れる。</li> <li>水の感触を十分に味わいながら水遊びを楽しむ。</li> <li>身近な植物の世話をし、野菜を収穫したり、食べたりしながら興味や関心をもつ。</li> <li>生き物に親しみをもち、大切にすることで生命の尊さに気付く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>いろいろな運動用具に興味をもち、使おうとする。</li> <li>園内外の秋の自然に触れ、興味や関心をもつ。</li> <li>年長児の運動遊びを見て、いろいろな運動用具を使って遊んでみようとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>木の実、木の葉、草花などを集めたり、遊びに取り入れれたりしながら、秋の自然に触れる。</li> <li>野菜の収穫を喜ぶ。</li> <li>形や数量などに関心をもち、数えたり比べたりする。</li> <li>園内外の自然の変化などから冬の訪れを感じる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本の伝統的な遊びに親しむ。</li> <li>冬の自然に触れて遊ぶことを楽しむ。</li> <li>春の訪れに関心をもつ。</li> </ul>
	言葉	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活に必要な挨拶を知り使おうとする。</li> <li>保育者や友達に自分の見たことや気付いたことを話す。</li> <li>絵本を読んでもらうことを喜ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>遊びや生活に必要な言葉を使う。</li> <li>身近な人に進んで挨拶をする。</li> <li>友達とのかかわりの中で、自分の思いや経験したことを自分なりの言葉で表現する。</li> <li>身近なお話や絵本に親しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>楽しかった経験を友達や保育者に喜んで伝えようとする。</li> <li>みんなで、共通の話題について話し合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えを伝えたり友達の思いを受け入れたりしながら、共通のイメージをもって遊ぶ。</li> <li>いろいろなお話を喜んで聞く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>友達と考えや気付きを伝え合い、喜んで遊ぶ。</li> <li>お話を聞いて、自分のイメージを膨らませたり友達のイメージを聞いたりして喜んで遊ぶ。</li> </ul>
	表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>リズムに合わせて体を動かしたり、歌を歌ったりする。</li> <li>見たことや感じたことなどを、いろいろな方法で表現することを喜ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>友達と一緒に、曲に合わせて体を動かすことを楽しむ。</li> <li>自分の好きな生き物と触れ合い、表現遊びを楽しむ。</li> <li>いろいろな素材に親しみ、かいたりつくったりして遊ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>友達と一緒に歌う楽しさを感じる。</li> <li>運動会に必要なものを友達と一緒に考えてつくったり、飾ったりして楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>友達と気持ちを合わせて歌ったり楽器に親しんだりする。</li> <li>いろいろな楽器に触れ、音や使い方に興味をもつ。</li> <li>秋の自然の美しさや不思議さに思いを寄せ、様々な表現を楽しむ。</li> <li>いろいろな素材に親しみ、かいたりつくったりすることを楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>絵本やお話を聞いて、保育者や友達と一緒に遊びながらイメージを広げ、劇遊びをつくり上げる。</li> </ul>
	家庭との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>新しい生活への緊張感や不安を受け止め、幼児が毎日安定して登園できるように協力を求める。</li> <li>機会をとらえて、幼児の様子を保護者と話し合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>疲れがでやすい時期のため、一人一人に応じた健康管理を依頼する。</li> <li>必要に応じて個人懇談を行い、成長の様子や今後の課題を話し合う。</li> <li>いろいろな行事を通して、保護者の仲間づくりを進める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活のリズムや基本的な生活習慣を見直すことの大切さを伝える。</li> <li>残暑の中、体調を崩さないような配慮を依頼する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>行動範囲が広がるため、交通安全への配慮と保護者間の連絡を密にするように呼びかける。</li> <li>手洗い、うがい、薄着の習慣が幼児に意識づくような声掛けを依頼する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>手洗いやうがい、十分な睡眠など冬の健康管理に気を付けて過ごすように伝える。</li> <li>幼児の成長を伝え合い、喜びの気持ちを共有しながら、安心して進級できる環境を整えるように依頼する。</li> </ul>
地域との交流	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分たちのことを大事に思い、気にかけてくれる地域の人々がいることに気付く。</li> <li>園外に出かけ、出会った人に挨拶をする。</li> <li>地域の自然、名所などを探検し自分の町のよさを知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>夏祭りなどいろいろな行事を通して、地域の人々との出会いを喜ぶ。</li> <li>地域の人々と一緒に遊ぶ体験を重ねていく中で、様々なことを教わったり温かく受け入れてもらったりして安心感をもつ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>運動会に地域の人々を招待し、自分たちの頑張る姿を見てもらい、共に成長を喜び合う。</li> <li>秋祭りなど地域の祭りに参加する。</li> <li>芋掘り、イチゴ苗植えなど、地域の人々と一緒に楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>散歩、園外保育などを通して、自然や地域の環境に触れる。</li> <li>地域の人々を音楽会などに招待し、自分たちの頑張る姿を見てもらうことを喜び、お礼の気持ちを言葉で伝えられるようになる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の人々を生活発表会やひな祭り会などに招待し、大きくなった喜びと一緒に味わうと共に、感謝の気持ちをもつ。</li> </ul>	

## 5歳児

期	I期（4月～5月上旬）	II期（5月中旬～8月）	III期（9月～10月上旬）	IV期（10月中旬～12月）	V期（1月～3月）	
発達の姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>園生活に親しみ、心が安定する。</li> <li>年長児としての自信をもって生活する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>いろいろなものに興味や関心をもち、友達と遊びを広げる。</li> <li>様々な運動遊びに興味をもち、積極的に取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>友達と相談しながら、みんなで一つのことをやり遂げ協力して遊びを進めて行く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>遊びの内容が豊かになり、友達と共通の課題を見付け、目的に向かって意欲的に取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の力を十分に発揮し、友達と協力したり、役割を分担したりしながら主体的に園生活を送る。</li> </ul>	
ねらい	養護	<ul style="list-style-type: none"> <li>新しい環境の中で、安全で快適な生活ができるようにする。</li> <li>一人一人の欲求を満たし、快適に過ごすことができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康な生活を送るために必要な習慣を身に付け、快適に過ごせるようにする。</li> <li>保育者や友達との信頼関係の中で、自分の気持ちや考えを表しながら安心して生活ができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康に関心をもち、保健的な環境を整え、元気に過ごせるようにする。</li> <li>一人一人の気持ちや考えを受けとめ、意欲的に活動できるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>疾病や保健衛生に関する認識を深め、健康増進が積極的に図れるようにする。</li> <li>一人一人の就学への期待や不安を受け止め、主体的に活動し充実した生活を送ることができるようにする。</li> </ul>	
	教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>園での生活に慣れ、好きな遊びを見付けて遊ぶ。</li> <li>保育者や友達と親しみをもって遊ぶ。</li> <li>春の身近な自然や動植物を見たり、触れたりして親しみをもつ。</li> <li>新入児に自分からかかわり、遊びを進めていく楽しさを味わう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>気の合う友達とかかわりながら、考えたり工夫したりして遊びを楽しむ。</li> <li>夏の自然や身近な動植物に興味や関心をもち、触れて遊ぶことを楽しむ。</li> <li>身近な生活の中で、生命の尊さに気付き大切にしようとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>戸外で体を十分に動かし、友達と力を合わせて遊ぶ喜びを味わう。</li> <li>友達と遊びや活動を進める楽しさを味わう。</li> <li>秋の自然にかかわり、経験したことや気付いたことを伝え合って遊ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康や事故防止に関する知識を身に付け、安全で快適に過ごせるようにする。</li> <li>いろいろな場面で、友達の思いも大切にしながら、自己発揮して活動できるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本古来の遊びや行事などに親しむ。</li> <li>友達と協力しながら遊びや生活を進め、つくり上げていく充実感を味わう。</li> <li>自然の移り変わりに気付き、自然界のめぐりを感じ、生命の営みを知る。</li> <li>就学への喜びや期待をもつ。</li> </ul>
内容	養護	<ul style="list-style-type: none"> <li>園内外の環境に留意し、安全で快適に過ごせるようにする。</li> <li>一人一人の気持ちや考えを受け止め、保育者との信頼関係を作って情緒の安定した生活ができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>梅雨や暑い時期の健康状態に十分配慮し、水分補給や休息を取ることに必要性を知らせ健康に過ごせるようにする。</li> <li>室内を清潔にするとともに、涼しく安全な環境を整える。</li> <li>一人一人を温かく受け止めながら、思いや考えを安心して表すことができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>暑さから体調を崩しやすい時期のため、一人一人の健康状態を把握し、水分補給や休息に十分気を配る。</li> <li>仲間意識が高まる中で、葛藤や欲求を理解し共感したり励ましたりしながら、受け入れられているという安心感がもてるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>気温の変化に応じて、温度調節や換気に配慮し、安全で快適に過ごすことができるようにする。</li> <li>友達と互いに思いを伝え、認め合える場をもち、相手の気持ちにも気付けるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人一人の健康状態を把握し、流行性の感染症予防に努め、異常を感じた時は適切な対応をするとともに、幼児自身からも訴えることができるようにする。</li> <li>小学校について話をしたり、見学に行ったりして就学に期待がもてるようにする。</li> </ul>
	健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>身の回りの始末・生活の仕方が分かり、自信をもって自分でしようとする。</li> <li>戸外で遊ぶことを喜び、固定遊具で楽しく遊ぶ。</li> <li>遊具、用具の使い方を知り、安全に気を付けて遊ぶ。</li> <li>簡単な交通のルールが分かり、自ら気を付けて行動しようとする。</li> <li>鉄棒や登り棒など、目的をもって挑戦しようとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>いろいろな運動用具を使い、思いきり体を動かして遊ぶ心地よさを味わう。</li> <li>集団で遊ぶことを喜び、満足感を味わう。</li> <li>自分の体に関心をもち、健康な生活の仕方や食べ物を意識する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の目標に向かって力いっぱい運動遊びに取り組み、充実感や達成感を味わう。</li> <li>ルールやいろいろな遊び方を考え、試したり挑戦したりする。</li> <li>危険に対して判断し、安全に気を付けて遊ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>遊具、用具の特性や安全な使い方が分かり、工夫して遊ぶ。</li> <li>健康な生活の習慣を継続して身に付ける。</li> <li>身の回りの危険を予測して行動するなど、安全に過ごせるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>寒さに負けず、体の温まる遊びを工夫して元気に遊ぶ。</li> <li>自分たちで決めたルールを共通理解して集団遊びをする。</li> <li>自分の体調に気を付け、冬の健康な生活を心がける。</li> <li>就学を意識して生活リズムを整え、けじめのある生活をする。</li> <li>身の回りの危険に対して、適切に判断する力を身に付け、事故のないように気を付けて遊ぶ。</li> </ul>
	人間関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育者や友達に親しみをもち、安心して自分のしたい遊びを見付けて遊ぶ。</li> <li>自分の知っていることを新入児に教える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>気の合う友達と場を共有したり、相談したりして、いろいろな遊びを楽しむ。</li> <li>遊びやトラブルの中で、安心して自分の思いを伝え、相手の話も聞こうとする。</li> <li>同じ目的をもった友達と一緒に考え合って遊ぶ。</li> <li>異年齢の友達を誘って遊ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>友達と力を合わせて目標を達成する喜びを味わう。</li> <li>トラブルが起きても自分たちで解決しようとする。</li> <li>仲間意識が芽生え、大きな集団で遊ぶことを喜ぶ。</li> <li>身近な人との触れ合いを楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>目的に向かって友達と試したり、工夫したりして遊びを進める。</li> <li>遊びの中で、お互いが納得して遊びを進める。</li> <li>いろいろな人とかかわりの中で、相手の気持ちを感じ、考えて行動しようとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>仲間意識をもち、友達と考えを出し合って遊ぶ楽しさを味わう。</li> <li>お互いの持ち味を生かして遊ぶ充実感を味わう。</li> <li>友達の思いを受け止め、喜びや悲しみに共感する。</li> <li>成長した喜びやいろいろな人にお世話になった感謝の気持ちをもつ。</li> </ul>
	環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育者と一緒に園庭や園周辺の自然に触れ、身近な草花や虫を見付けて遊ぶ。</li> <li>飼育物や身近な虫に親しみ、世話をしたり遊んだりする。</li> <li>砂、土、水の感触を味わったり、遊びを工夫したりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な環境を取り入れて遊ぼうとする。</li> <li>喜んで動植物の世話をし、生命の存在に気付く。</li> <li>遊びに必要な材料や用具、場を自分たちで準備し、より遊びが楽しくなるよう考えて遊ぶ。</li> <li>水に親しみ、夏ならではの遊びを楽しむ。</li> <li>夏の夜空に興味や関心をもち、</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>共同の遊具や用具を大切に、みんなで使ったり片付けたりする。</li> <li>秋の自然の不思議さやおもしろさを感じ、興味をもつ。</li> <li>遊びに必要な場や空間を工夫し、自分達のイメージした遊びを楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>秋の自然の不思議さを体験し、遊びに取り入れれたり、試したり工夫したりする。</li> <li>秋の実りに期待し、収穫を喜ぶ。</li> <li>園内外の自然の変化などから、冬の訪れを感じる。</li> <li>地域での昔ながらの行事や年末の行事など、社会の事象に興味や関心をもち、</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>冬の厳しさを知り、春の訪れを心待ちにする。</li> <li>小学校に遊びに行き、就学への期待をもつ。</li> <li>感謝の気持ちをもって、園の環境を整える。</li> </ul>
	言葉	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育者や友達に喜んで話したり、人の話に興味をもって聞いたりする。</li> <li>身近なお話や絵本に興味をもって聞き、想像することを楽しむ。</li> <li>知っていることを自分の言葉で伝えようとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の思ったことや考えたことを言葉で表現する。</li> <li>身近な遊びに必要な物の名称や用途を知り、使ってみようとする。</li> <li>遊びや生活の中で、数、量に関心をもち遊ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>友達の話を聞いたり、自分の思いを伝えたりする。</li> <li>いろいろなお話に親しみ、話の内容に興味をもって聞く。</li> <li>みんなで共通の話題について話し合ったり考え合ったりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>絵本やお話の内容に興味をもち友達と共感し合う。</li> <li>いろいろな言葉遊びを楽しむ。</li> <li>生活の中で使う言葉や文字、数字、記号の意味が分かるようになる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近にある文字、数、量などに興味や関心をもち、遊びや生活の中で使う。</li> <li>友達との会話を楽しみ、気持ちの伝わっていく心地よさを味わう。</li> <li>感謝の気持ちを言葉で表す。</li> </ul>
	表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>いろいろなリズムに合わせて体を動かすことを楽しむ。</li> <li>見たこと、感じたことをいろいろな方法で表現する。</li> <li>いろいろな材料・用具を使い、かいたりつくったりすることを楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>歌の内容を感じながら、いろいろな歌を友達と一緒に歌ったり聞いたりして楽しむ。</li> <li>生活の中で見たこと体験したことのイメージを大事にしなが、いろいろな方法で表現を楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>歌ったり踊ったりする楽しさを味わう。</li> <li>友達と考えを出し合って遊びに必要な物を作る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>いろいろな画材や素材、自然物を使い、共通のイメージをもって共同制作を楽しむ。</li> <li>いろいろな楽器や歌に親しみ、友達と一緒に心を合わせて歌ったり演奏したりすることを楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>絵本やお話を聞いてイメージを広げ、劇遊びをつくり上げることを楽しむ。</li> <li>思い出を大切にしながら、経験したこと、感じたこと、想像したことを伸び伸びといろいろな方法で表現する。</li> </ul>
家庭との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>親子で栽培活動等、共通の体験を楽しめるようにする。</li> <li>クラス便りなどで、幼児の様子や成長を伝え保護者も嬉しく感じられるようにする。</li> <li>健康な体をつくるために、食事と栄養のバランスの大切さを伝え、栄養のバランスを考えた食事を依頼する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>疲れがでやすい時期のため、一人一人に応じた健康管理を依頼する。</li> <li>必要に応じて個人懇談を行い、幼児の成長について話し合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活リズムや基本的な生活習慣を親子で見直し、自分で気づいていけるような配慮を依頼する。</li> <li>運動会に向けての遊びなどを伝え、幼児の頑張りを一緒に応援したり支えたりする。</li> <li>衣替えの時期に、薄着を心がけてもらうようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>親子でお話や音楽に親しみ機会をもち、共感し合う大切さを知らせる。</li> <li>就学時健康診断を機会に、小学校生活に向けての課題を話し合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一年間の園生活を思い出ししながら、親子で育ちを喜び合い、小学校生活への期待を高めていく。</li> </ul>	
地域との交流	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分たちのことを大事に思ってくれくれる人々がいることに気付く。</li> <li>園外に出かけ、出会った人に挨拶をする。</li> <li>地域の自然、名所などを探検し地域のよさを知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>夏祭りなどいろいろな行事を通して地域の人々との出会いを喜ぶ。</li> <li>地域の人々と積極的にかかわり、一緒に遊ぶことを喜ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の人々を運動会に招待し、自分たちの頑張りを見てもらうことを喜ぶ。</li> <li>自分たちを励ましたり、ほめたり、認めたりしてくれる地域の人々の温かさを感じるとともに感謝の気持ちをもつ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>昔の遊びなどを教わり、地域の人々の巧みな技に尊敬の気持ちをもつ。</li> <li>音楽会などに地域の方を招待して、自分の頑張りを見てもらうことを喜び、お礼の気持ちを言葉で伝えられるようになる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活発表会やひな祭り会などに地域の人々を招待し、大きくなった喜びと一緒に味わうと共に感謝の気持ちをもつ。</li> </ul>	
小学校との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学校を身近に感じられるような場をもつ。</li> <li>いろいろな活動を通して、保・幼・小・中の連携を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学生と触れ合う機会をもち、交流を楽しめるようにする。</li> <li>小学校のプールや遊具などで遊ぶ機会をもち、決まりやルールのあることを知らせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>園の運動会などに学校関係者を招待し、機会を生かして交流を深めていく。</li> <li>就学時健康診断を受けて、気になる幼児の様子について情報交換をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学校の先生と一緒に遊ぶ機会をもち、親しみがもてるようにする。</li> <li>音楽会や作品展、交通安全教室など共通の体験をし、お互いの存在に関心をもてるようにする。</li> <li>小学校への関心をもてるように、給食試食会などに出かけ、小学生との交流の場をもつ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>体験入学や小学校への散歩、ふれあい活動を通して、就学への期待をもてるようにする。</li> <li>小学校生活に必要な基礎的な力が付いているかを見直し、就学への準備をする。</li> <li>一年生へのスムーズな移行ができるように連絡会をもつ。</li> </ul>	